

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	1998年11月24日から2023年12月11日まで(当初、無期限)	
運用方針	日本を除く世界各国の公社債への投資により、投資信託財産の長期的な安定成長を図ることを目的として、安定運用を行うことを基本とします。	
主要運用対象	ベビーファンド	グローバル・ボンド・マザーファンド 受益証券を主要投資対象とします。なお、直接債券等に投資する場合があります。
	マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得する場合に限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得する場合に限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として、毎決算時(5月23日、11月23日。ただし決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。(ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。)収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

## 運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インバーストメント・マネジメント株式会社  
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目9番7号

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号：03-6836-5140

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：[www.morganstanley.com/im/jp](http://www.morganstanley.com/im/jp)

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# Morgan Stanley

INVESTMENT MANAGEMENT

## グローバル・ボンド・オープンIM

### 運用報告書（全体版）

第50期（決算日 2023年11月24日）

### 受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・ボンド・オープンIM」は、去る2023年11月24日に第50期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますようお願い申し上げます。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
46期 (2021年11月24日)	10,576	40	0.2	18,616	1.2	94.5	—	668
47期 (2022年5月23日)	9,752	30	△7.5	17,318	△7.0	95.8	—	608
48期 (2022年11月24日)	9,286	10	△4.7	16,619	△4.0	91.8	—	588
49期 (2023年5月23日)	9,011	20	△2.7	16,321	△1.8	97.9	—	582
50期 (2023年11月24日)	8,673	0	△3.8	16,253	△0.4	—	—	324

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) ベンチマークとしてFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース:25%為替オープン+75%為替ヘッジ)を使用しています。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、ファンドの設定日の値を10,000として指数化しています。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2023年5月23日	円	%		%	%	%
5月末	9,011	—	16,321	—	97.9	—
6月末	9,034	0.3	16,374	0.3	97.3	—
7月末	9,060	0.5	16,460	0.9	93.3	—
8月末	8,964	△0.5	16,310	△0.1	88.6	—
9月末	8,952	△0.7	16,322	0.0	95.8	—
10月末	8,730	△3.1	15,929	△2.4	95.2	—
11月末	8,679	△3.7	15,865	△2.8	—	—
(期末) 2023年11月24日	8,673	△3.8	16,253	△0.4	—	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

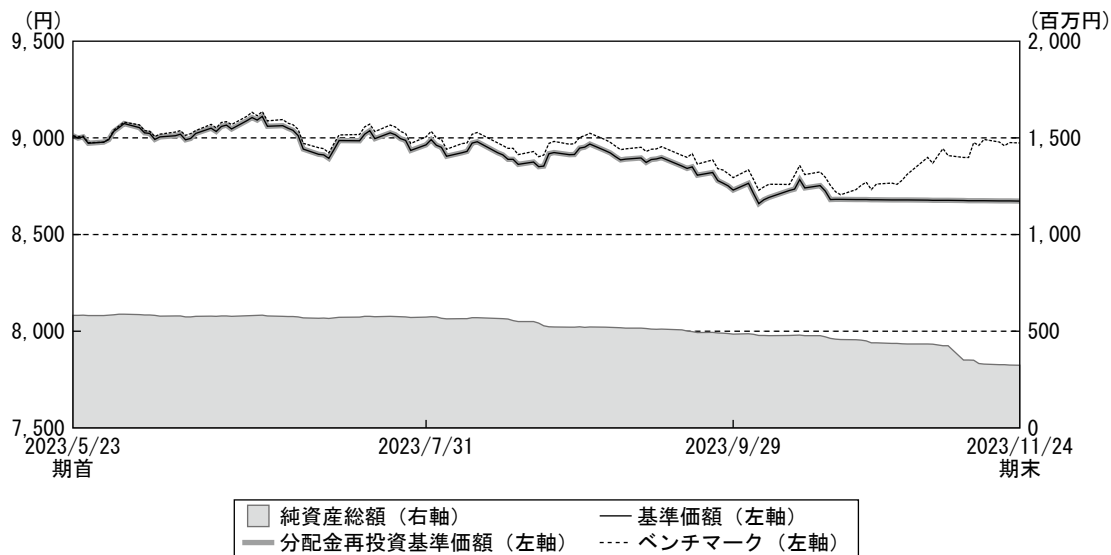
(注2) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) ベンチマークとしてFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース:25%為替オープン+75%為替ヘッジ)を使用しています。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、ファンドの設定日の値を10,000として指数化しています。

## ■運用経過

### 基準価額等の推移



第50期首：9,011円

第50期末：8,673円（既払分配金0円）

騰落率：△3.8%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ）です。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算し、為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。ベンチマークは、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

### 基準価額の主な変動要因

当期は、主に債券市場が下落（利回りは上昇）したことで、期首に9,011円でスタートした基準価額は期末には8,673円と下落しました。

### 投資環境

- ① 米国債券市場は、事前の想定よりもマクロ経済が良好に推移したことを背景に追加利上げが行われたことが金利上昇要因となり、特にこれまで相対的に金利上昇が抑制されていた長期金利の上昇が顕著となりました。
- ② ドイツ債券市場においては、米国同様に長期金利を中心に金利が上昇したものの、経済のダウンサイドリスクが高まっているとの見方等から、金利の上昇幅は相対的に抑制されました。
- ③ 為替市場において、日銀の緩和政策に修正が入るとの観測が一時的な円高要因となったものの、米国金利が上昇する局面では米ドル高円安となりました。

## ポートフォリオ

マザーファンドへの投資を通じて、主要先進国公社債の国別・残存期間別組入れ比率を債券市場の変化に対応して機動的に調整するとともに、為替ヘッジを適宜実行し、安定した利息収入と売買益の確保をめざして運用してまいりました。また、運用手法としては、金利予測・為替予測よりも、各国の経済ファンダメンタルズ、インフレ動向、長短金利差および実質金利動向を重点的に分析・適用する「バリュエーション・アプローチ」を採用しています。この方針に基づき、組入れ銘柄の残存期間を調整し、ポートフォリオを構築しました。また、為替戦略に関しては、為替予約取引を活用しながら、バリュエーション・アプローチの観点から投資妙味のある通貨に積極的に投資を行いました。

### (1) 債券戦略

インフレ高止まりを背景に、タカ派的な金融政策が継続されると考え、米国や欧州についてはアンダーウェイト戦略を基本としました。一方、オーストラリアやニュージーランドについては、相対的に金融政策がハト派的であると考えオーバーウェイト戦略としました。ユーロ圏内においては、ECBの政策動向がボラティリティ要因となるものの、これまでよりも高いキャリー水準が下支えとなると考え、スペイン国債を若干オーバーウェイトとする戦略を継続しました。

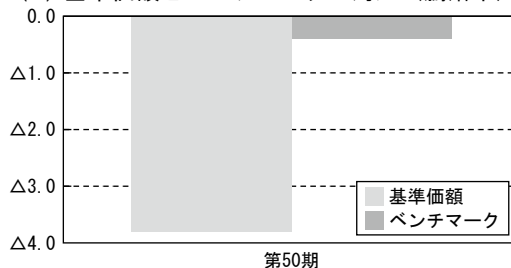
### (2) 為替戦略

これまでの上昇を受けて米ドルは割高であると考えたものの、相対的に米国経済が堅調であることが下支えとなると考え、アクティブ戦略を抑制的としました。新興国通貨においては、タカ派的な米国の金融政策が新興国通貨にとってマイナスに作用する可能性を考慮しつつも、割安であると考えるメキシコ・ペソをオーバーウェイトとしておりましたが、バリュエーションの観点から期中に解消しました。

## ベンチマークとの差異

期中の騰落率は、ポートフォリオが $\Delta 3.8\%$ 、ベンチマークが $\Delta 0.4\%$ となり、 $3.4\%$ のアンダーパフォームとなりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。債券戦略において、オーストラリアやニュージーランドをオーバーウェイトとしていたことなどがマイナス寄与となりました。為替戦略における寄与度は限定的となりました。

(%) 基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



## 分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第50期
	(2023年5月24日～2023年11月24日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,799

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## ■今後の運用方針

当ファンドは2023年12月11日付けで繰り上げ償還いたします。償還までの期間、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年5月24日～2023年11月24日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	52円 (23) (27) (2)	0.587% (0.253) (0.306) (0.028)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	10 (1)  (9) (0)	0.113 (0.010)  (0.099) (0.004)	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	62	0.700	

当期中の平均基準価額は、8,903円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

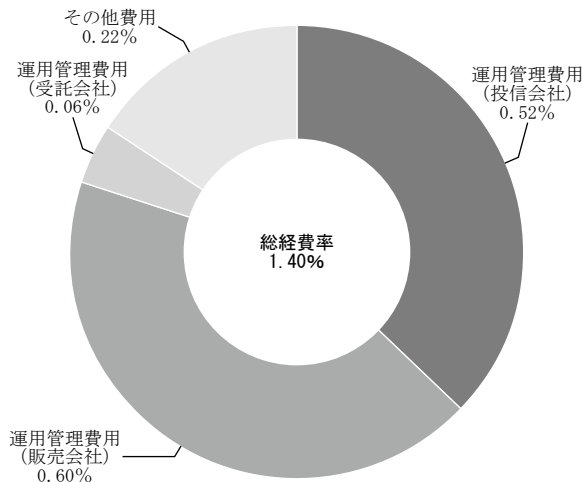
(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

### (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.40%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含まず。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年5月24日から2023年11月24日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 19,095	千円 37,593	千口 331,270	千円 654,320

（注）単位未満は切捨て。

## ■ 利害関係人との取引状況等（2023年5月24日から2023年11月24日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 組入資産の明細

（2023年11月24日現在）

決算日現在における有価証券等の組入れはございません。

## 親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 312,175	千口 —	千円 —

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ■ 投資信託財産の構成

（2023年11月24日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 331,462	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	331,462	100.0

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月24日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	331,462,866円
コール・ローン等	331,358,244
未 収 入 金	104,622
(B) 負 債	7,426,781
未 払 金	304,314
未 払 解 約 金	3,484,969
未 払 信 託 報 酬	3,099,321
そ の 他 未 払 費 用	538,177
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	324,036,085
元 本	373,612,716
次 期 繰 越 損 益 金	△49,576,631
(D) 受 益 権 総 口 数	373,612,716口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,673円

## ■損益の状況

当期 (自2023年5月24日 至2023年11月24日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△26,358円
支 払 利 息	△26,358
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△8,928,424
売 買 益	33,062,457
売 買 損	△41,990,881
(C) 信 託 報 酬 等	△3,643,983
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△12,598,765
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△50,020,086
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	13,042,220
(配 当 等 相 当 額)	(131,440,644)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△118,398,424)
(G) 計 (D+E+F)	△49,576,631
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△49,576,631
追 加 信 託 差 損 益 金	13,042,220
(配 当 等 相 当 額)	(131,504,775)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△118,462,555)
分 配 準 備 積 立 金	10,468,467
繰 越 損 益 金	△73,087,318

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### <注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	646,028,832円
期中追加設定元本額	42,357,681円
期中一部解約元本額	314,773,797円
2. 元本の欠損	
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は49,576,631円であります。	

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程  
投資信託約款に基づき計算した分配可能額は141,973,242円であるが、基準価額水準、市況動向および収益分配方針を勘案し、分配を行っておりません。

## ■分配金

1万口当たり分配金 (税込み)	0円
-----------------	----

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。



## ■お知らせ

- ①当ファンドの信託終了（繰上償還）につきまして、2023年8月9日現在の受益者の皆様からの異議申立の受付を行った結果、繰上償還に異議を申立てられた受益者に係る受益権の合計口数は、同日現在の受益権総口数の2分の1を超えませんでした。よって、当社は、当ファンドの信託終了日を繰り上げ、2023年12月11日付で繰上償還致します。なお、信託終了（繰上償還）の決定に伴い、当ファンドは既に組入資産を全て売却し、現金化を完了しています。そのため、今後も基準価額は変動しますが、当該基準価額は投資対象資産の価格変動を反映しなくなりますので、ご注意ください。
- ②当ファンドが2023年12月11日付けで繰上償還することが確定したことに伴い、委託者報酬を現行の0.55%（税抜）から0.05%（税抜）に変更するため、信託報酬の総額の変更を行いました。（2023年10月20日付）
- ③当ファンドが2023年12月11日付けで繰上償還することが確定したことに伴い、信託維持費用の公平な負担の観点で設定していた信託財産留保額を廃止する変更を行いました。（2023年10月20日付）

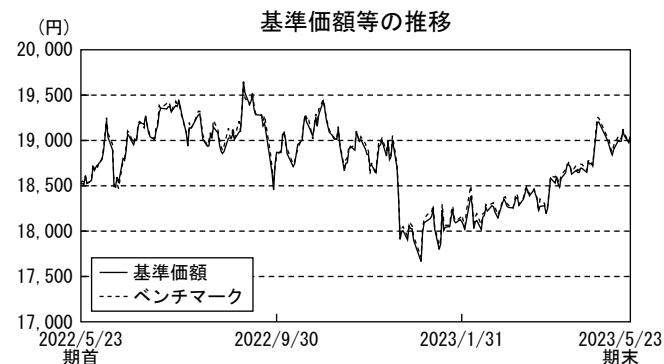
**グローバル・ボンド・マザーファンド ー第20期ー**  
**決算日 2023年5月23日／計算期間 (2022年5月24日～2023年5月23日)**

※決算時における組入ファンドはありません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

<b>運用方針</b>	この投資信託は、主として日本を除く世界各国の公社債への投資により、投資信託財産の長期的な安定成長を図ることを目的として、安定運用を行うことを基本とします。
<b>主要運用対象</b>	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
<b>組入制限</b>	株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券または新株引受権証書に限ります。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■**運用経過** (2022年5月24日から2023年5月23日まで)



(注1) ベンチマークは期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。  
 (注2) ベンチマークとしてFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

- ③ 為替市場において、米国の利上げや金利上昇が意識される展開となったことに加えて、日銀が現行の緩和的な金融政策を継続していることなどを背景に、円安米ドル高が進行しました。期中で円高となる局面もあったものの、日銀の緩和的な政策が長期化するとの見通しが再び高まったことから円安米ドル高基調での推移となりました。

**基準価額の主な変動要因**

当期は、債券市場が下落(利回りは上昇)したことはマイナス寄与したものの、為替市場における円安により、期首に18,529円でスタートした基準価額は期末には19,048円と上昇しました。

**投資環境(債券および為替市場)**

- ① 米国債券市場は、当初はインフレ高止まりを背景に、金利が大きく上昇する展開となりました。期中においては、利上げサイクルの終盤に入りつつあるとの見方や一部銀行に対する信用懸念が高まったことが金利低下要因となる局面もありましたが、期を通じて金利上昇基調で推移しました。
- ② ドイツ債券市場においても、高いインフレ率を背景に利上げサイクルが長期

## ポートフォリオ

主要先進国公社債の国別・残存期間別組入れ比率を債券市場の変化に対応して機動的に調整し、安定した利息収入と売買益の確保をめざして運用してまいりました。また、運用手法としては、金利予測・為替予測よりも、各国の経済ファンダメンタルズ、インフレ動向、長短金利差および実質金利動向を重点的に分析・適用する「バリュエーション・アプローチ」を採用しています。この方針に基づき、組入れ銘柄の残存期間を調整し、ポートフォリオを構築しました。また、為替戦略に関しては、為替予約取引を活用しながら、バリュエーション・アプローチの観点から投資妙味のある通貨に積極的に投資を行いました。

### (1) 債券戦略

インフレ高止まりを背景に、タカ派的な金融政策が継続されると考え、米国や欧州のアンダーウェイト戦略を基本としつつも、金利の上昇余地が限定的になったと考え、アンダーウェイト戦略を徐々に縮小しました。一方、オーストラリアについては、相対的に金融政策がハト派的であると考えオーバーウェイト戦略としました。ユーロ圏内においては、ECBの政策動向がボラティリティ要因となるものの、これまでよりも高いキャリー水準が下支えとなると考え、スペイン国債を若干オーバーウェイトとする戦略を継続しました。

### (2) 為替戦略

これまでの上昇を受けて米ドルは割高であると考えたものの、相対的に米国経済が堅調であることが下支えとなると考え、アクティブ戦略を抑制的としました。新興国通貨においては、タカ派的な米国の金融政策が新興国通貨にとってマイナスに作用する可能性を考慮しつつも、割安であると考えメキシコ・ペソをオーバーウェイトとしました。

## ベンチマークとの差異

期中の騰落率は、ポートフォリオが+2.8%、ベンチマークが+2.9%となり、0.1%のアンダーパフォーマンスとなりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。為替戦略において、メキシコ・ペソをオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。債券戦略においては、オーストラリアのオーバーウェイト戦略がマイナス寄与したものの、米国のアンダーウェイト戦略がプラスに寄与しました。

## ■今後の運用方針

**米 国 債 券：**利上げサイクルは終盤に入っているものの、高いインフレ率等を背景に利下げに転じるには時間を要すると考えております。金利はレンジ内での推移となると考え、金利水準に応じて適宜ポジション調整する方針です。

**欧 州 債 券：**米国と比較して利上げサイクルが長期化すると考え、他国と比較しても相対的に金利上昇余地があると考えております。そのため、デュレーションをアンダーウェイトとする方針です。

**為 替 戦 略：**これまでの上昇を受けて米ドルは割高な水準にあり、中長期的に米ドル安方向にあると考えられております。一方で、米国経済が相対的に堅調であることが米ドルをサポートする可能性があることから、アクティブ戦略を抑制的とする方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2022年 5月23日	円 18,529	% —		% —	% 96.4	% —
5月末	18,705	0.9	129,451	1.1	98.3	—
6月末	19,153	3.4	132,579	3.6	95.1	—
7月末	19,288	4.1	133,118	4.0	96.9	—
8月末	19,029	2.7	131,430	2.7	96.0	—
9月末	18,869	1.8	130,077	1.6	92.3	—
10月末	19,432	4.9	134,356	5.0	90.1	—
11月末	18,844	1.7	130,450	1.9	92.2	—
12月末	17,899	△3.4	123,946	△3.2	93.1	—
2023年 1月末	18,107	△2.3	125,559	△1.9	92.3	—
2月末	18,352	△1.0	126,904	△0.8	91.1	—
3月末	18,584	0.3	128,532	0.4	94.9	—
4月末	18,718	1.0	129,371	1.1	96.0	—
(期 末) 2023年 5月23日	19,048	2.8	131,708	2.9	95.8	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) ベンチマークとしてFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年5月24日~2023年5月23日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	4円 (4)	0.021% (0.021)	その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	4	0.021	信託事務処理に要するその他の諸費用
当期中の平均基準価額は、18,748円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況 (2022年5月24日から2023年5月23日まで)

公社債

			買付額	売付額	
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 6,832	千米ドル 7,954	
		特殊債券	—	— (75)	
	カナダ	国債証券	千カナダドル 25	千カナダドル 65	
		ドイツ	国債証券	千ユーロ 1,468	千ユーロ 504
	ヨーロッパ	イタリア	国債証券	—	1,375 (1,320)
		フランス	国債証券	188	1,796
		スペイン	国債証券	1,097	1,253
		フィンランド	国債証券	199	—
	イギリス	国債証券	千英ポンド 432	千英ポンド 520	
	国	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローナ 688	千スウェーデンクローナ 896
オーストラリア		国債証券	千オーストラリアドル 845	千オーストラリアドル 1,118	
ニュージーランド		国債証券	千ニュージーランドドル 954	千ニュージーランドドル —	

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( ) 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2022年5月24日から2023年5月23日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2023年5月23日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期			組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	末		
	額 面 金 額	評 価 額				残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千米ドル 17,190	千米ドル 15,021	千円 2,080,120	% 49.7	% —	% 21.5	% 13.8	% 14.4
カ ナ ダ	千カナダドル 870	千カナダドル 809	83,027	2.0	—	2.0	—	—
メ キ シ コ	千メキシコペソ 5,500	千メキシコペソ 5,415	41,946	1.0	—	1.0	—	—
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ						
ド イ ツ	2,925	2,608	390,688	9.3	—	6.4	2.9	—
イ タ リ ア	1,270	1,283	192,231	4.6	—	3.2	1.4	—
フ ラ ン ス	955	792	118,741	2.8	—	2.8	—	—
オ ラ ン ダ	250	278	41,703	1.0	—	1.0	—	—
ス ペ イ ン	2,154	2,021	302,766	7.2	—	2.6	2.1	2.5
ベルギー	1,220	1,032	154,592	3.7	—	3.7	—	—
オーストリア	1,190	1,071	160,409	3.8	—	0.6	3.2	—
フィンランド	200	198	29,725	0.7	—	0.7	—	—
イ ギ リ ス	千英ポンド 1,100	千英ポンド 772	133,141	3.2	—	3.2	—	—
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークローネ 490	千ノルウェークローネ 444	5,644	0.1	—	0.1	—	—
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 850	千ポーランドズロチ 702	23,394	0.6	—	—	0.6	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,979	千オーストラリアドル 1,828	168,631	4.0	—	1.5	1.3	1.2
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 930	千ニュージーランドドル 937	81,746	2.0	—	2.0	—	—
合 計	—	—	4,008,511	95.8	—	52.3	25.3	18.1

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注3）額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

（注4）—印は組入れなし。

（注5）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示 (外貨建)

外国(外貨建)公社債

銘柄	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
US TREASURY	国債証券	2.0	1,480	1,436	198,915	2024/5/31
US TREASURY		2.125	3,050	2,923	404,842	2025/5/15
US TREASURY		1.625	1,710	1,596	221,057	2026/5/15
US TREASURY		0.5	1,500	1,316	182,331	2027/4/30
US TREASURY		4.125	1,240	1,253	173,586	2027/9/30
US TREASURY		2.875	1,140	1,090	150,960	2028/8/15
US TREASURY		1.5	790	685	94,972	2030/2/15
US TREASURY		1.875	1,940	1,675	232,078	2032/2/15
US TREASURY		1.125	1,220	781	108,270	2040/5/15
US TREASURY		1.75	460	320	44,339	2041/8/15
US TREASURY		2.5	1,040	795	110,154	2045/2/15
US TREASURY		2.75	520	411	57,014	2047/8/15
US TREASURY		1.25	800	436	60,502	2050/5/15
US TREASURY		2.375	60	43	6,028	2051/5/15
FHLMC 7%	特殊債券	7.0	240	253	35,065	2032/4/1
小 計					2,080,120	
(カナダ)			千カナダドル	千カナダドル		
CANADA	国債証券	2.0	550	520	53,434	2028/6/1
CANADA		1.25	180	159	16,324	2030/6/1
CANADA		2.75	140	129	13,268	2048/12/1
小 計					83,027	
(メキシコ)			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
MEXICO	国債証券	8.5	5,500	5,415	41,946	2029/5/31
小 計					41,946	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ	千ユーロ		
GERMANY	国債証券	1.0	850	818	122,615	2025/8/15
GERMANY		0.25	1,620	1,437	215,222	2029/2/15
GERMANY		—	330	268	40,209	2032/2/15
GERMANY		2.5	45	44	6,592	2044/7/4
GERMANY		—	80	40	6,047	2050/8/15
(ユーロ…イタリア)			千ユーロ	千ユーロ		
ITALY	国債証券	2.2	420	398	59,618	2027/6/1
ITALY		5.0	850	885	132,613	2039/8/1
(ユーロ…フランス)			千ユーロ	千ユーロ		
FRANCE	国債証券	0.75	355	321	48,180	2028/5/25
FRANCE		2.0	90	82	12,414	2032/11/25
FRANCE		2.0	510	388	58,147	2048/5/25
(ユーロ…オランダ)			千ユーロ	千ユーロ		
NETHERLANDS	国債証券	3.75	250	278	41,703	2042/1/15

グローバル・ボンド・マザーファンド

銘柄	種類	当		期		償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…スペイン)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
SPAIN	国債証券	1.6	720	700	104,979	2025/4/30
SPAIN		—	650	599	89,770	2026/1/31
SPAIN		3.15	500	485	72,690	2033/4/30
SPAIN		3.45	24	22	3,304	2043/7/30
SPAIN		2.7	140	110	16,553	2048/10/31
SPAIN		3.45	120	103	15,468	2066/7/30
(ユーロ…ベルギー)			千ユーロ	千ユーロ		
BELGIUM KINGDOM	国債証券	0.8	300	272	40,813	2028/6/22
BELGIUM KINGDOM		0.9	420	375	56,294	2029/6/22
BELGIUM KINGDOM		3.0	140	137	20,559	2034/6/22
BELGIUM KINGDOM		1.6	200	137	20,604	2047/6/22
BELGIUM KINGDOM		1.7	160	108	16,320	2050/6/22
(ユーロ…オーストリア)			千ユーロ	千ユーロ		
AUSTRIA	国債証券	1.2	930	894	134,037	2025/10/20
AUSTRIA		0.25	260	176	26,372	2036/10/20
(ユーロ…フィンランド)			千ユーロ	千ユーロ		
FINLAND	国債証券	3.0	200	198	29,725	2033/9/15
小計					1,390,858	
(イギリス)			千英ポンド	千英ポンド		
UK TREASURY	国債証券	0.375	120	92	16,021	2030/10/22
UK TREASURY		3.5	610	530	91,334	2045/1/22
UK TREASURY		0.625	370	149	25,785	2050/10/22
小計					133,141	
(ノルウェー)			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
NORWAY	国債証券	2.125	490	444	5,644	2032/5/18
小計					5,644	
(ポーランド)			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
POLAND	国債証券	0.25	850	702	23,394	2026/10/25
小計					23,394	
(オーストラリア)			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
AUSTRALIA	国債証券	3.25	550	547	50,518	2025/4/21
AUSTRALIA		0.5	640	583	53,848	2026/9/21
AUSTRALIA		2.75	165	160	14,763	2028/11/21
AUSTRALIA		1.25	480	394	36,425	2032/5/21
AUSTRALIA		3.5	144	141	13,075	2034/12/21
小計					168,631	
(ニュージーランド)			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
NEW ZEALAND	国債証券	4.5	930	937	81,746	2030/5/15
小計					81,746	
合計					4,008,511	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。



■投資信託財産の構成

(2023年5月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	4,008,511	95.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	208,175	4.9
投 資 信 託 財 産 総 額	4,216,686	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産 (4,161,084千円) の投資信託財産総額 (4,216,686千円) に対する比率は98.7%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年5月23日における邦貨換算レートは、1米ドル=138.48円、1カナダドル=102.62円、1メキシコペソ=7.7457円、1ユーロ=149.77円、1英ポンド=172.32円、1スウェーデンクローナ=13.13円、1ノルウェークローネ=12.70円、1ポーランドズロチ=33.2867円、1オーストラリアドル=92.23円、1ニュージーランドドル=87.23円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月23日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	6,486,694,232円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	167,722,406
公 社 債 (評価額)	4,008,511,720
未 収 入 金	2,286,985,676
未 収 利 息	22,226,913
前 払 費 用	1,247,517
(B) 負 債	2,302,504,204
未 払 金	2,291,834,104
未 払 解 約 金	10,669,902
未 払 利 息	116
そ の 他 未 払 費 用	82
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	4,184,190,028
元 本	2,196,694,992
次 期 繰 越 損 益 金	1,987,495,036
(D) 受 益 権 総 口 数	2,196,694,992口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,048円

■損益の状況

当期 (自2022年5月24日 至2023年5月23日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	85,847,158円
受 取 利 息	86,025,009
そ の 他 収 益 金	1,607
支 払 利 息	△179,458
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	42,697,850
売 買 益	547,239,316
売 買 損	△504,541,466
(C) 信 託 報 酬 等	△925,596
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	127,619,412
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,189,306,368
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	178,996,550
(G) 解 約 差 損 益 金	△508,427,294
(H) 計 (D + E + F + G)	1,987,495,036
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,987,495,036

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,566,966,968円
期中追加設定元本額	205,881,150円
期中一部解約元本額	576,153,126円
期末における元本の内訳	
グローバル・ボンド・オープンIM VA (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	1,070,328,556円
グローバル・ボンド・オープンIM VA-3 (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	814,191,360円
グローバル・ボンド・オープンIM	312,175,076円
期末元本額合計	2,196,694,992円

■お知らせ

該当事項はありません。